

2年

アイスプラネット

松山市立北条北中学校 藤本 恒平






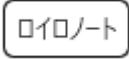
単元の特徴・付けたい力

本単元の学習目標は、「登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む」こと、「登場人物の設定に着目し、人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る」ことである。登場人物の人物像や心情を読み取るには、その人物の言動に着目して物語を読んでいくことが大切である。本文から抜き出した言葉を根拠に考えさせることで、どのような表現に着目すればよいのか考えさせたい。また、登場人物について読み取ったことを人物相関図にまとめることを通して、作品の設定や人物同士の関係についてより深く理解させたい。

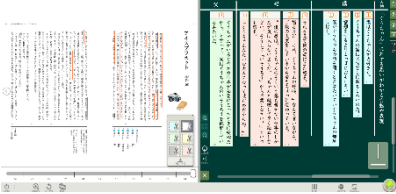
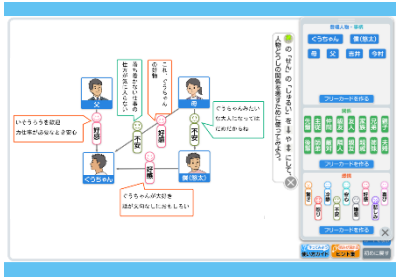
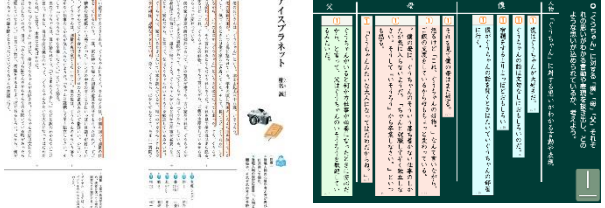
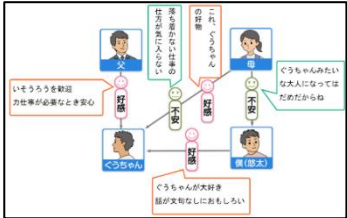
ICTの活用について

デジタル教科書の「マイ黒板」を活用し、本文の言葉を根拠に人物像や「ぐうちゃん」に対する心情を考えさせる。「マイ黒板」での学習活動を通して、人物像や心情がその人物の言動に表れていることに気づかせたい。そして、読み取ったことを人物相関図にまとめさせ、グループで交流させる。絵や図を用いて、人物の特徴や人物同士の関係を視覚的に捉えられるようにすることで、意見の交流が効果的に行えると考えられる。授業や話し合いの中で気づいたことを適宜、人物相関図に記入させていくことで、学習のまとめや振り返りに活用することができる。

全時学習活動（全4時間）

時	主な学習活動	
1	作品を通読し、漢字や語句の意味を確認する。 登場人物を確認する。	 きく 朗読
★2	第1場面を読み、「ぐうちゃん」に対する家族の気持ちを考える。 登場人物の特徴や関係について整理する。	 マイ黒板  ワーク 「人物相関図」
3	場面構成を整理し、物語の大筋を捉える。ICT 「ワーク」場面構成 第2～4場面を読み、「僕」の「ぐうちゃん」に対する心情の変化を捉える。ICT 「マイ黒板」	 ワーク  マイ黒板 「場面構成」
4	第5場面を読み、「ぐうちゃん」が伝えたかったことを考え、話し合う。 「ぐうちゃん」に対する返事の手紙を書き、交流する。 学習を振り返る。	 レポート

★2 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆生徒の反応 □先生の感想</p>
<p><u>導入：前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。</u></p> <p>◇登場人物について確認する。</p> <p>◇学習課題を提示し、本時の学習の見通しをもたせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「僕」や家族は、「ぐうちゃん」のことをどう思っているのだろう？ (人物像や心情を読み取るには、どのような表現に注目すればよいか。)</p> </div>	
<p><u>展開(1)：場面1を読み、「ぐうちゃん」に対する家族の気持ちを考える。</u></p> <p>①本文を読み、人物像や心情が分かる表現を抜き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆朗読機能で音声を聞く。 ◆「ぐうちゃん」の人物像が分かる表現に赤線を引く。(画像1) ◆「僕」「母」「父」の「ぐうちゃん」に対する気持ちが分かる表現を「マイ黒板」に抜き出し、整理する。(画像2) ◇どんな表現に着目すればよいか考えさせる。 ◇操作や学習内容が分からず手が止まっている生徒を支援する。 <div style="text-align: center;">  <p>(作業中の画面①)</p> </div> <p>②抜き出した表現をもとに、登場人物の人物像や関係を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆カードや「ふせん」、矢印等を用いて人物相関図を作成する。(画像3) ◇生徒の実態に合わせて、教師が作成した見本を提示する。 <div style="text-align: center;">  <p>(作業中の画面②)</p> </div> <p><u>展開(2)：作成した人物相関図を交流し、登場人物の関係性を理解する。</u></p> <p>③グループで人物相関図を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆作成した人物相関図をロイロノートで共有し、意見を交流する。 ◇他者の意見でよいと思ったものを「ふせん」で書き足させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆何度も読み返し、集中して線を引いている。 ◆人物ごとに色分けするなど、工夫してまとめている。 <div style="text-align: center;">  <p>(画像1) (画像2)</p> </div> <p>□簡単な操作で文を抜き出せるので、書くことが苦手な生徒でも抵抗なく学習に取り組むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆様々なカードを並べたり消したりながら、納得のいくまで試行錯誤している。 <div style="text-align: center;">  <p>(画像3)</p> </div> <p>□登場人物のイラストがあるので、関係を視覚的に捉えられる。「感情」のカードも表情や色分けによってイメージがしやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆他者の作った人物相関図に驚いたり感心したりしている。 <p>□生徒によってまとめ方が異なり、考え方を広げられる。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p> <p>①全体で、どのような表現に注目すればよかったかを確認する。</p> <p>◇登場人物の言葉や行動に注目することで、人物像や心情を読み取れることを確認する。</p> <p>②次時は「僕」の言葉や行動に注目し、「ぐうちゃん」に対する心情の変化について考えていくことを確認する。</p>	<p>□「マイ黒板」を活用することで、登場人物の言葉や行動に注目すれば人物像や心情を読み取れることに気づいていた。</p>